学校番号	T0308

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新現代社会」　（第一学習社）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の経済・政治について基本的な理解力を持つ
・現代社会の諸課題について主体的に考察し公正に判断する力を持つ。
・現代を生きる人間としての在り方を主体的に考察する力を養う。

2　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探求精神に基づいて、現代の社会と人間理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する力を育てる。
・良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を探求する態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向け参加・協力する態度を身につけ、人間としての在り方・生き方について自覚を深めようとしている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について多面的に考察するとともに、諸問題について公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に処理・表現する。	現代社会の基本的な事柄について諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択・活用して学び方を身につける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方・生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの生きる社会	・環境と私たちの生活 ・資源エネルギー問題 ・科学技術の発達と私たちの生命	○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○	a:地球義母の環境問題にはどのようなものがあるか書籍やインターネットで調査し理解する。 b:地球温暖化対策への国際的取り組みを踏まえ、自然と共生し、よりよい環境を次世代へ引き継ぐ方策を考える c:科学技術の発達が社会や生活をどのように変化させてきたかを考える d:医療の発達により人間が新たに直面している課題を、具体的事例をあげて考える。	ワークシート
	方 現代社会と人間としての在り方生き	・青年期と自己の形成 ・個人の尊重と法の支配 ・世界の政治体制	 ○ 	○ ○	○ ○ 	 ○	a:人生の中で青年期がどういう意味をもののかを考え、悩みを克服するためにはどうすればよいかを考える。 b:伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。 c:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高める。 d:基本的人権が保障されるにいたる経緯について多くの資料を収集し、具体的事例をあげて考察し理解する。	定期考査 ワークシート
	現代の民主主義と政治参加の意味	・日本国憲法の基本理念 ・平和主義と日本の安全保障 ・基本的人権と公共の福祉 ・世論の形成と政治参加	○ ○	 ○ ○ 	○ ○	 ○ ○ 	a:日本国憲法の成立過程と明治憲法との比較、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 b:平和主義をめぐってどのような動きがあったかを理解し、自衛隊をめぐる問題についても考察する。 c:基本的人権と公共の福祉の関係について理解し、望ましい解決策を、様々な情報手段を活用して調べ、話し合う。 d:国民が政治に参加する方法にはどのようなものがあるかを様々な手段を用いて調べ、住民にとって生活しやすい政治のために必要な行動を話し合う。	定期考査 ワークシート 主題学習

2学期	国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・国際連合の役割 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦後の国際社会 ・核兵器の廃絶と国際平和 ・地域紛争と人種・民族問題 ・日本の役割と私たちの生き方	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:主権国家とはどのようなものか、国際法の役割と限界について国際連合のありかたを含め考える。 b:第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結後の国際社会の状況について年表を使って整理し、理解する。 c:核兵器廃絶に向けどのような取り組みがなされているか、又、国際平和のためにすべきことは何かを、さまざまな情報手段を用いて調べ話し合う。 d:人種・民族紛争の実態、難民問題について理解するとともに、国際社会における日本の役割、国際社会の一員として何をなすべきかを考え話し合う。	定期考査 ワークシート
	現在の経済社会と私たちの生活	・経済と私たちの生活 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・財政の仕組みと税金 ・戦後日本経済のあゆみ ・雇用と労働問題 ・消費者問題と消費者主義 ・これからの社会保障	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的しくみ、および資本主義経済と社会主義経済の特徴を理解する。 b:財政にはどのような機能と役割が求められているか、日本の財政の課題について理解する。 c:日本の経済発展のあゆみについて年表を使って理解し、現在の日本経済の課題と新たな取り組みについて考える。 d:労働運動の展開と労働基本権について理解し、消費者問題や社会保障制度の特徴や少子高齢化の問題について理解し、話し合う。	定期考査 ワークシート

3学期	国際経済の動向と日本の役割	・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・進む地域的経済統合 ・国際社会のこれから	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ 	 ○ ○ ○	a:自由貿易と保護貿易のちがいについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する b:円高・円安が生じる理由、経済のグローバル化について考え、身近な事例をもとにレポートを作成し、適切に表現する。 c:国際経済機構や地域的経済統合にはどのようなものがあるか理解する。 d:南北問題の原因、発展途上国のかかえる問題について理解し、南北問題解決にむけて日本は何をすべきか考え話し合う。	定期考査 ワークシート
	ともに生きる社会をめざして	・豊かな人生を求めて ・近代市民社会から大衆社会へ ・他者とともに生きる ・豊かな社会の実現に向けて	○ 	 ○ 	 ○ 	○ 	a:哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊に生きるとはどういうことかを多角的に考察する。 b:人間の尊厳や科学的な物の考え方、民主的社会を樹立するために必要な考え方を深める。 c:平等な社会の実現には偏見を取り除き、主体的に努力することが求められていることを理解させる。 d:社会の一員として主体的に生きることを学ぶ。	レポート 振り返りシート 主題学習

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。